

## 県北部地区郵便局長会から八峰白神ジオパークへ PR用マグネットステッカーが寄贈されました

11月21日、県北部地区郵便局長会（小松大太郎会長）が八峰白神ジオパーク推進協議会にマグネットステッカー10枚を寄贈しました。

21日は埴川郵便局の池田直人局長と八森郵便局の加藤知徳局長が役場を訪れ、同協議会の山崎典康副会長にジオパークのマスコットキャラクターが描かれたマグネットステッカーを手渡しました。受け取った山崎副会長は「車に張って移動看板のように活用し、町内外の人にジオパークをPRしたい」と感謝しました。



# 八峰白神ジオパーク

連載142回

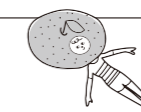


事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係  
☎0185(76)4605 FAX 0185(76)2203  
HP <https://geopark.town.happo.lg.jp/>



## 白神の恵みに生きる



地域の人話を聞いて、  
大地と自然と人のつながりを考えます

### 【漁師さんの助けになりたいです】



話をしてくれた人

#### 門脇 哲也（かどわき てつや）さん

昭和56年生まれ。滝の間生まれ。秋田県漁協北部支所長。好きな食べ物はラーメンショップのラーメン。温泉に入ると体を休めるのが休日の過ごし方。

#### ●漁協の仕事のやりがい

北部支所は横間・岩館・能代の漁港を管轄していて、北部支所全体で199人の会員がいます。「船休んでいれば暇だべ」って言われますが、実際は営業もあるし、共済事業もやっています。共済はいろいろなお節介かもしれませんが、加入してもらって漁師の生活を守らなければならないので推進しています。それで何かあった時に、入っていて良かったと言われると嬉しいです。漁師にとって家族の次に顔を合わせているのが漁協なので、その人のことを良く見て、一番良いプランを考えて提案できると思います。

漁師向けの補助金の申請も今はネットの申請が当たり前ですが、年配の方には難しい部分もあるので漁協で申請をサポートしています。それで「こういうのもあったー」とか「助かったじゃー」ってなればやりがいがありますね。

#### ●支所長に就任してプレッシャーもあります

高校を卒業したとき、ちょうど就職氷河期で就職に失敗して、家でゲームばかりしてました。だから2、3年無駄にしたかなってというのはあるけれど、それもまあいい経験だと思っています。それで底引き船の乗組員だった親父が見るに見かねて、家にいてもしょうがないから船に乗れということで、1カ月くらい底引き船に乗りました。でも最初は魚の種類も分からないし、乗組員も足りていたので漁協で勉強してこいってことで船を降ろされて。22歳の時に漁協に入ってからずっと勤めています。漁協は大変なところもありますが、漁師さんの助けになるやりがいのある仕事なので、今では親父に漁協を紹介してもらって良かったと思っています。

#### ●ハタハタの時期は泊まり込み

これからハタハタの時期です。夜に獲れる魚なので、泊まりで夜勤もありますし、揚がって来る量も多いので職員は大忙しです。泊まって、朝に一度家に帰って、昼まで寝てまた出勤みたいな。ただ、ここ数年は不漁が続いたので夜勤もありませんでした。ハタハタが獲れれば獲れるほど漁協は忙しくなりますが、それでも今年はたくさん獲れてほしいですね。

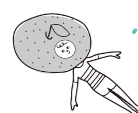


## 日本ジオパーク再認定審査の現地調査が行われました

11月8日～11日の日程で八峰白神ジオパークにおいて再認定審査の現地調査が行われました。再認定審査は4年に一度行われ、ジオパーク地域における地質遺産の価値の評価と、その保全、活用の仕組みと取り組みを中心に審査を受けます。今回の現地調査では2名の調査員が来町し、ジオサイトの現地確認や関係者との面談を行いました。審査結果は12月16日に発表されます。



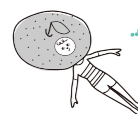
審査って何のためにやるの？



ジオパーク活動の質の向上のために4年に一度行われるよ。八峰白神ジオパークでは、今回で3回目の再認定審査になるよ。



具体的にはどんなことをするの？



調査員と地域の人と一緒にあって、どうすればより良いジオパーク活動になるかを考えるんだ。その上で、現在の活動状況を評価して「再認定」か「条件付き再認定」か審査されるよ。

### 日本ジオパーク4年に一度の再認定審査

